

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	医療の質の評価・公表等推進事業			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成22年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課		課長：榎本 健太郎		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	平成22年3月24日付医政発0324第22号 「医療の質の評価・公表等推進事業の実施について」				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国民の関心の高い特定の医療分野について、「医療の質の評価・公表等推進事業」を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、医療の質の向上及び質の情報の公表を推進することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<p>本事業を行う団体は臨床指標を選定し、協力病院の臨床データを収集・分析し、臨床指標を用いた医療の質の評価・公表を行い、評価や公表に当たっての問題点の分析等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の分野について、評価・公表等を行う具体的な臨床指標を選定する。</li> <li>・関連する複数の医療機関から臨床データを集計・分析し、具体的な臨床指標の作成を行う。</li> <li>・臨床データの提供のあった医療機関の関係者等による委員会を開催し、国民に有用な臨床指標の公表のあり方等に関する諸課題について分析・改善策の検討を行う。</li> </ul> <p>補助率：1/2</p>								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	13	10	9	9	9		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		13	10	9	9	9		
	執行額		9	8	6	-			
	執行率 (%)		69%	80%	67%	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		69%	80%	67%	-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	9	9						
	計	9	9						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	公表される医療の質に関する臨床指標数を増やす。	公表された医療の質に関する臨床指標数	成果実績	指標	70	89	116	-	-
			目標値	項目	40	40	80	-	54
			達成度	%	175	222	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名	事業者からの実績報告								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	実施団体	活動実績	団体数	2	2	2	-	-	
		当初見込み	団体数	2	2	2	2	2	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	公表された臨床指標に係るHPのアクセス件数	活動実績	件数	30,129	32,735	34,820	-	-	
		当初見込み	件数	15,000	20,000	25,000	30,000	30,000	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト X:「当該年度執行額」 Y:「当該年度に公表された医療の質に関する臨床指標数」	単位当たり コスト	千円	128	89	52	167		
		計算式	X/Y	千円	9,000千円 /70項目	8,000千円 /89項目	6,000千円 /116項目	9,000千円 /54項目	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること									
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	国民の関心の高い特定の医療分野について、医療の質の評価・公表等を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、良質かつ適切な医療が効率的に提供できる。										
	改革項目 （第一階層） （第二階層）	分野:									
		KPI （第一階層）		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
KPI （第二階層）			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-				
	達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療の質に関する情報(アウトカム指標やプロセス指標)については、その標準化が求められているところであり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
			地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療の質に関する情報(アウトカム指標やプロセス指標)については、その標準化が求められているところであり、国が実施すべき事業である。
			政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	平成23年12月に取りまとめられた社会保障審議会医療部会の「医療提供体制の改革に関する意見」において、「医療の質に関する情報の公表に向けた取組を進めるべきである」とされており、医療の質に関する情報の公表の標準化という政策目的達成に向けて優先度が高い事業である。
事業の効率性			競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
			一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
			競争性のない随意契約となったものはないか。	無	-
			受益者との負担関係は妥当であるか。	○	当該事業は、医療に関する広告、情報提供のあり方にも影響しうる事業であり、また、医療機関において提供する医療内容の向上に資する観点もあることから、医療機関の負担は事業費の2分の1が妥当であると考えている。
			単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	必要最小限の費用で効果を生み出している。
			資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	本事業に係る経費のうち、団体における最低限の経費のみが計上されているところであり、中間段階での支出は合理的なものとなっている。
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	臨床指標を選定し、協力病院の臨床データを収集・分析、臨床指標を用いた医療の質の評価・公表、評価や公表に当たっての問題点の分析等を行うものについて補助するものであり、真に必要なものに限り実施している。
			不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	事業にかかる経費が各団体の契約努力等により当初見込みより下がったため。
			繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算要求時において、更なる経費の節減及び効率化について検討している。	
事業の有効性			成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	28年度実績は集計中であるが、例年見込に見合ったものとなっている。
			事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	既存団体の事務局機能等を活用することとしており、実効性は高いと考えられる。
			活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みであり、実績に見合ったものになっている。
			整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	臨床指標については、当該団体においてホームページ上で公表を実施しており、参照的に他病院がいつでも評価指標等が閲覧できるようになっている。
関連事業			関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成23年12月に取りまとめられた社会保障審議会医療部会の「医療提供体制の改革に関する意見」において、「医療の質に関する情報の公表に向けた取組を進めるべきである」とされ、また、平成26年閣議決定の規制改革実施計画においても「自治体病院等へ対し、～これらの取組を進める。」とされており、今まで公表された医療の質に関する臨床指標は、HPのアクセス数からわかるとおり、有効に活用されている。今後も医療の質の向上及び情報の公表に役立つよう、改善策の検討を行う必要がある。また、執行状況を勘案して毎年予算に反映してきている。なお、実施方法等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。			
	改善の方向性	当事業については、外部有識者による評価会議を実施し事業の中間評価及び最終評価を実施しており、実施団体へ改善点を伝えている。			

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

公表された臨床指標数及びHPのアクセス件数も増加しており、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

—

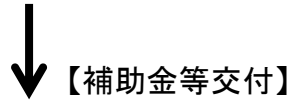
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	833	平成24年度	732		
平成25年度	22	平成26年度	21	平成27年度	19		
平成28年度	19						

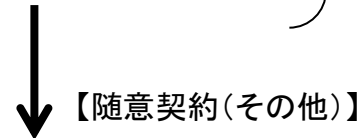
※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
6百万円



A. 医療関係団体 (2)  
6百万円

特定の医療分野について、評価・公表等を行う臨床指標を選定し、協力病院の臨床データを収集・分析した上で、具体的な臨床指標を作成し公表を実施。



B. 株式会社ウイズ  
2百万円

医療の質の評価・公表等推進事業に係る事務用機器操作業務派遣

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

